

機能毎の病床の状況について

病院名:医療法人 桂会 平尾病院 医療圏:中和

※H28年度の列は、別紙1－3「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R7年度、R8年度(2026年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

			(a)	<R7年度> 許可病床数	うち、最大使用 病床数 (注1)	(単位:床)	
			<H28年度> 許可病床数			(b)	(b-a)
						将来 (R8/2026年度) 病床数	H28年度からの 増減 (自動計算)
一般 病床・ 療養 病床	高度急性期						0床
	急性期	重症	47床	47床	43床	47床	0床
		軽症	52床	52床	34床	52床	0床
	回復期						0床
	慢性期		22床	0床	0床	0床	-22床
	休棟中 (今後再開する予定)						0床
	休棟中 (今後廃止する予定)						0床
	(合計)(自動計算)		121床	99床	77床	99床	-22床
精神病床							0床
結核病床							0床
感染症病床							0床
介護医療院				22床	22床	22床	22床

(単位:人／日)	
1日平均 在院患者数(注2)	
1日平均 外来患者数(注3)	

※ 用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1)最大使用病床数
・1年間(R6.4.1～R7.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

令和7年度 地域医療構想における具体的対応方針

1. 基本情報

病院名：医療法人 桂会 平尾病院

医療圏：中和

2. 地域医療構想の実現に向けた自院の取組について

（1）これまでの地域医療構想や昨今の受領動向の変化、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の方向性を踏まえ、自院が地域で担う役割等について（現状と今後の方向性）

2025年に向けての地域医療構想（コロナウイルスが全世界にまん延するまでは）は、病床機能の再編・調整（統合や削減）を大きな目標の1つとして、策定し実行してきたと感じております。しかし、コロナウイルスが5類になってから以降では、患者の受診率や地域性、人口構造の変化に伴う社会環境の変化（2025年以降の後期高齢者の急増と現役世代の急減）などにより、これまでの思考とは違う角度からの思考が必要になると感じております。

これらの様な社会を取り巻く環境の変化を踏まえて、効率的な社会資源の活用や自院が地域で担う役割について以下の様に考えます。

現在、当院では泌尿器科を中心に内科、外科等の診療を行っております。泌尿器科に関しましては、手術対象患者様を中心に診療しており、内科系に関しましては市中肺炎や心不全等の循環器疾患等を中心に、また、外科に関しましては大腸ファイバーや簡単な手術が中心となっております。

地域における自院の立ち位置としては、現在でも全国的に見ても引けを取らない症例数を持っている急性期泌尿器科疾患を中心に、今後も中和医療圏をはじめ奈良県全域に広めていきたいと考えております。その中でも自院の役割としては、手術対応が必要な急性期が担当であると考えております。

また、内科に関しては診療圏の急性期疾患（特に高齢者）の対応が担当であると考えており、外科に関してもこれまでと同様の診療担当であると考えます。

現在地域の病院間での役割分担としては、疾患別と超急性期や慢性期などと言った診療期に合わせてそれぞれ役割分担が出来ていると考えております。

病院及び地域医療連携室の役割として、患者様にとって今後も最適な医療や介護に向けてのアプローチが出来る様に、地域の医療機関や介護施設などとの連携を今後も継続していくつもりです。

新たな地域医療構想の方向性を踏まえた役割分担として、泌尿器科の手術対応は『特定の診療科に特化した手術等を提供』する機能や体制が整っているので、『専門等機能』に該当すると考え、高齢者に多い疾患や手術に対応する泌尿器科・内科・外科等は、『高齢者救急・地域急性期機能』に該当すると考えております。

（２）今後、増加が見込まれる高齢者救急への対応について

2025年度に、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になります。そこから2040年に向けては85歳以上の後期高齢者が増加し、現役世代が減少していく流れになっております（地域差が生ずる）。これらのことにより、高齢者による救急搬送が増加すると見込まれており、この増加する高齢者救急に対する考え方を以下に示します。

当院では診療科を問わずに高齢者に多い疾患（高齢者救急含む）の受入を継続して行い、これまでと同様に『面倒見の良い病院』の一翼を担うつもりです。

特に泌尿器科疾患に関する救急依頼は、24時間365日受け入れられる態勢を維持し、現在から未来へと継続させていくつもりです。

（３）今後、増加が見込まれる在宅医療需要への対応について

※提供体制強化や体制整備の予定等ありましたら合わせてご記載ください

当院では現在、医師の数が少なく、在宅医療への進出が大きく出来ていない状態にあります。しかし、今後を考慮していない訳ではありません。

医師の増加や体制が出来上がれば、在宅医療を行いたいと考えております。

(4) 今後の医療従事者の確保や医療提供の維持に向けた方策、検討の状況について

※医療DX、タスクシフト・シェア等の取組状況がありましたら合わせてご記載ください

今後も当院での医療提供に必要な人材の採用及び、現職員の採用維持を継続します。また、電子カルテを初めICTの活用や医療クランクの活用等のタスクシフト・シェアの取り組みを継続して行います。
また、当院と近隣医療施設とを繋ぐネットワークの拡大を図り、負担軽減と医療の質向上にも取り組んでいきます。

3. 各領域の対応状況について

※以下[1]～[15]の領域の今後の方向性について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

[1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[1-2]手術の実施

泌尿器；(男性)生殖器

[1-3]化学療法の実施

実施している

[1-4]放射線治療の実施

実施していない

[1-5]拠点病院等の指定

指定されていない

[1-6]特記事項

がんの診療につきましては、手術対応できるがんに対しては積極的治療を行っております。化学療法などの治療に関しても、他医療機関との連携にて泌尿器科、内科、外科の診療科で受けられるものに関しては、今後も受けてまいります。院内に化学療法を専門で受ける『ケモチーム』を発足させて運用しております。

[2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

実施していない

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

実施していない

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

実施していない

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

実施していない

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

実施していない

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

実施していない

[2-8]大動脈瘤手術の実施

実施していない

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

実施していない

[2-10]特記事項

当院では、薬物療法で対応可能な冠動脈疾患や、心血管疾患の急性期治療後に対応させて頂いております。また、超急性期の心臓カテーテル治療や手術に関しましては、当院で対応しておりませんので、然るべき医療機関にご紹介させていただきます。

[3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

実施していない

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

実施していない

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

対応している

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

実施していない

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

実施していない

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

実施していない

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

実施している

[3-9]特記事項

脳外科領域の手術や検査に対しては対応しておりませんので、然るべき医療機関にご紹介させていただきます。なお、脳梗塞に対しての薬物治療に関しては、対応させて頂いております。

[4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

受けていない

[4-3]大腿骨骨折への対応

対応していない

[4-4]病院群輪番制への参加

参加している

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加していない

[4-6]特記事項

奈良県橿原地区の二次救急病院群輪番制に参加させて頂いております。また、泌尿器科の疾患に対しましては、独自に毎日24時間の救急を受ける体制を敷いております。

[5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[5-2]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

無し

[5-3]上記が有りの場合、届出病床数

—

[5-4]訪問リハビリの実施

実施していない

[5-5]通所リハビリの実施

実施していない

[5-6]今後の方向性

当院では現在、呼吸器、運動器、脳血管のリハビリについて実施しております。当院では、排尿自立へのケアもおこなっております。

[6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

対応している

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

無し

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

無し

[6-4]特記事項

当院は、施設基準上における『在宅療養支援病院』や『在宅療養後方支援病院』には該当しませんが、地域の開業医の先生方のバックアップが出来る様に常に務めております。

[7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

対応していない

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

ない

[7-3]上記でありの場合、その名称

[7-4]特記事項

現在、訪問看護ステーションはありませんが、今後検討する可能性があります。

[8]ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について
定めている

[8-2]特記事項

今後も柔軟な対応が出来る様に、院内の研修を定期的に行っています。

[9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[9-2]小児入院医療管理料の算定

—

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

—

[9-4]医療的ケア児を受け入れている

—

[9-5]特記事項

—

[10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[10-2]分娩の取扱い

—

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

—

[10-4]特記事項

—

[11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

受けていない

[11-3]DMAT指定病院の指定を受けているか？

受けていない

[11-4]EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加

参加している

[11-5]特記事項

当院が担える部分を、誠実に実行させていただきます。

[12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

—

[12-3]特記事項

—

[13]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[13-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[13-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

受けていない

[13-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

受けている

[13-4]臨床研修協力施設であるか？

該当する

[13-5]専門研修の基幹施設であるか？

該当する

[13-6]専門研修の連携施設であるか？

該当する

[13-7]特記事項

※泌尿器科について該当します。

[14]医師の働き方改革

[14-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

[14-2]上記で一部の場合、その範囲

取得済み

[14-3]特記事項

—

[15]看護職員の研修機能

[15-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[15-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ある

[15-3]特記事項

当院では既に、特定行為研修の『膀胱ろう』の研修協力機関になっております。